



Cisco Unified IP Phone のモデル情報、ステータス、および統計の表示

この章では、Cisco Unified IP Phone 7975G 上の次のメニューと画面を使用して、電話機のモデル情報、ステータス メッセージ、ネットワーク統計、およびファームウェア情報を表示する方法について説明します。

- [モデル情報] 画面：電話機のハードウェアとソフトウェアに関する情報を表示します。詳細については、[P.7-2 の「モデル情報画面」](#)を参照してください。
- [ステータス] メニュー：ステータス メッセージ、ネットワーク統計、およびファームウェアバージョンを表示する画面にアクセスできます。詳細については、[P.7-3 の「ステータス メニュー」](#)を参照してください。
- [コールの統計] 画面：現在のコールのカウンタと統計を表示します。詳細については、[P.7-12 の「コールの統計画面」](#)を参照してください。

これらの画面の情報は、電話機の操作のモニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

また、これらの情報の大半およびその他の関連情報は、電話機の Web ページからリモートで取得することもできます。詳細については、[第 8 章「Cisco Unified IP Phone のリモート モニタ」](#)を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7975G のトラブルシューティングの詳細については、[第 9 章「トラブルシューティングおよびメンテナンス」](#)を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [モデル情報画面 \(P.7-2\)](#)
- [ステータス メニュー \(P.7-3\)](#)
- [コールの統計画面 \(P.7-12\)](#)

モデル情報画面

[モデル情報] 画面には、表 7-1 に示すオプションがあります。

[モデル情報] 画面を表示するには、設定ボタンを押し、次に [モデル情報] を選択します。

[モデル情報] 画面を終了するには、[終了] ソフトキーを押しします。

表 7-1 モデル情報の設定

オプション	説明	変更の手順
モデル番号	電話機のモデル番号。	表示のみ (変更不可)。
MAC アドレス	電話機の MAC アドレス。	表示のみ (変更不可)。
ロード ファイル	電話機で稼働しているプレインストール済みのロードの ID。	表示のみ (変更不可)。
起動ロード ID	電話機で稼働しているプレインストール済みのロードの ID。	表示のみ (変更不可)。
シリアル番号	電話機のシリアル番号。	表示のみ (変更不可)。
CTL	電話機にインストールされている CTL ファイルの MD5 ハッシュを表示します。電話機に CTL ファイルがインストールされていない場合、このフィールドには [No] と表示されます (電話機にセキュリティが設定されていると、電話機をリブートまたはリセットしたときに自動的に CTL ファイルがインストールされます)。	このファイルの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』を参照してください。
MIC	MIC (セキュリティ機能に使用) が電話機にインストールされている ([Yes]) か、インストールされていない ([No]) かを示します。	電話機の MIC を管理する方法については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』の「Certificate Authority Proxy Function の使用方法」の章を参照してください。
LSC	LSC (セキュリティ機能に使用) が電話機にインストールされている ([Yes]) か、インストールされていない ([No]) かを示します。	電話機の LSC を管理する方法については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』の「Certificate Authority Proxy Function の使用方法」の章を参照してください。
コール制御プロトコル	電話機が SCCP または SIP のどちらの制御下で稼働しているかを示します。	P.2-12 の「複数のプロトコルでの Cisco Unified IP Phone の使用」を参照してください。

ステータス メニュー

[ステータス] メニューを表示するには、**設定** ボタンを押し、次に **[ステータス]** を選択します。

[ステータス] メニューを終了するには、**[終了]** ソフトキーを押します。

[ステータス] メニューには、次のオプションが含まれます。これらは電話機とその操作に関する情報を表示します。

- ステータスメッセージ：[ステータスメッセージ] 画面を表示します。ここには、重要なシステム メッセージのログが示されます。詳細については、[P.7-3 の「ステータス メッセージ画面」](#)を参照してください。
- ネットワーク統計：[ネットワーク統計] 画面を表示します。ここには、イーサネット トラフィック統計が表示されます。詳細については、[P.7-9 の「ネットワーク統計画面」](#)を参照してください。
- ファームウェアバージョン：[ファームウェアバージョン] 画面を表示します。ここには、電話機で稼働しているファームウェアに関する情報が表示されます。詳細については、[P.7-10 の「ファームウェア バージョン画面」](#)を参照してください。
- 拡張モジュール（SCCP 電話機のみ）：[拡張モジュール] 画面を表示します。この画面には、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールが電話機に接続されている場合に、この拡張モジュールに関する情報が表示されます。詳細については、[P.7-11 の「拡張モジュール画面 \(SCCP 電話機のみ\)」](#)を参照してください。

ステータス メッセージ画面

[ステータスメッセージ] 画面には、電話機が最近生成したステータス メッセージが 10 件表示されます。この画面には、電話機が起動を完了していない場合でも、いつでもアクセスできます。[表 7-2](#)に、表示される可能性のあるステータス メッセージを示します。また、この表には、エラーの対処方法も示されています。

[ステータスメッセージ] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** 設定ボタンを押します。
 - ステップ 2** [ステータス] を選択します。
 - ステップ 3** [ステータスメッセージ] を選択します。
-

■ ステータス メニュー

現在のステータス メッセージを削除するには、[クリア] ソフトキーを押します。

[ステータスメッセージ] 画面を終了するには、[終了] ソフトキーを押します。

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
BootP サーバが使用されています	電話機が、DHCP サーバではなく BootP サーバから IP アドレスを取得しました。	なし。このメッセージは、情報提供のみを目的としています。
CFG ファイルが見つかりません	TFTP サーバで、名前ベースのデフォルトの設定ファイルが見つかりません。	<p>電話機の設定ファイルは、電話機が Cisco Unified Communications Manager データベースに追加されたときに作成されます。電話機が Cisco Unified Communications Manager データベースに追加されていない場合、TFTP サーバは「CFG ファイルが見つかりません」という応答を生成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機が Cisco Unified Communications Manager に登録されていません。 電話機を自動登録できない場合は、手動で電話機を Cisco Unified Communications Manager に追加する必要があります。詳細については、P.2-11 の「Cisco Unified Communications Manager の管理ページでの電話機の追加」を参照してください。 DHCP を使用している場合は、DHCP サーバが正しい TFTP サーバをポイントしていることを確認してください。 スタティック IP アドレスを使用している場合は、TFTP サーバの設定を確認してください。TFTP サーバの割り当ての詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」を参照してください。
CFG TFTP サイズエラー	電話機のファイル システムに対して、設定ファイルのサイズが大きすぎます。	電話機の電源投入サイクルを実行します。
チェックサムエラー	ダウンロードしたソフトウェア ファイルが破損しています。	電話機のファームウェアの新しいコピーを入手し、それを TFTPPath ディレクトリに置きます。ファイルをこのディレクトリにコピーできるのは、TFTP サーバソフトウェアがシャットダウンされているときだけです。それ以外の場合にコピーすると、ファイルが破損する可能性があります。
CTL がインストールされました	CTL ファイルが電話機にインストールされました。	<p>なし。このメッセージは、情報提供のみを目的としています。</p> <p>CTL ファイルの詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド</i>』を参照してください。</p>
CTL の更新失敗	電話機は、CTL ファイルを更新できませんでした。	<p>TFTP サーバ上の CTL ファイルに問題があります。</p> <p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド</i>』を参照してください。</p>

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ (続き)

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
DHCP タイムアウト	DHCP サーバが応答しませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークがビジーになっている：このエラーは、ネットワーク負荷が軽減されると、自動的に解決します。 DHCP サーバと電話機との間にネットワーク接続がない：ネットワーク接続を確認してください。 DHCP サーバがダウンしている：DHCP サーバの設定を確認してください。 エラーが続く：スタティック IP アドレスを割り当てることを検討してください。スタティック IP アドレスの割り当ての詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」を参照してください。
ダイヤル プランの解析エラー (SIP 電話機のみ)	電話機は、ダイヤルプラン XML ファイルを正しく解析できませんでした。	<p>TFTP でダウンロードされたダイヤルプラン XML ファイルに問題があります。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。</p>
無効	802.1X 認証は電話機で無効になっています。	802.1X 認証を有効にするには、電話機の [設定] > [セキュリティ設定] > [802.1X 認証] オプションを使用します。詳細については、P.4-32 の「802.1X 認証およびステータス」を参照してください。
DNS タイムアウト	DNS サーバが応答しませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークがビジーになっている：このエラーは、ネットワーク負荷が軽減されると、自動的に解決します。 DNS サーバと電話機との間にネットワーク接続がない：ネットワーク接続を確認してください。 DNS サーバがダウンしている：DNS サーバの設定を確認してください。
DNS 不明ホスト	DNS が TFTP サーバまたは Cisco Unified Communications Manager の名前を解決できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> TFTP サーバまたは Cisco Unified Communications Manager のホスト名が DNS に正しく設定されていることを確認してください。 ホスト名ではなく、IP アドレスを使用することを検討してください。
IP が重複しています	電話機に割り当てられた IP アドレスは、別のデバイスが使用中です。	<ul style="list-style-type: none"> 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、重複する IP アドレスを割り当てていないことを確認してください。詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」の項を参照してください。 DHCP を使用している場合は、DHCP サーバの設定を確認してください。

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ (続き)

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
ロケールの更新エラー	1つ以上のローカリゼーションファイルが TFTPPath ディレクトリで見つからなかったか、または有効ではありませんでした。ロケールは変更されませんでした。	次のファイルが TFTPPath ディレクトリのサブディレクトリに存在することを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク ロケールと同じ名前のサブディレクトリに存在するファイル： <ul style="list-style-type: none"> tones.xml ユーザ ロケールと同じ名前のサブディレクトリに存在するファイル： <ul style="list-style-type: none"> glyphs.xml dictionary.xml kate.xml dictionary.xml
失敗	電話機で 802.1X トランザクションを実行しようとしたときに、認証に失敗しました。	通常は、次のいずれかの原因で認証に失敗します。 <ul style="list-style-type: none"> 電話機または認証サーバに共有シークレットが設定されていない。 電話機および認証サーバに設定された共有シークレットが一致していない。 認証サーバに電話機が設定されていない。
ファイルの認証が失敗しました	電話機が署名付きファイルのシグニチャを検証しようとしたときにエラーが発生しました。このメッセージには、失敗したファイルの名前が含まれます。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルが破損しています。ファイルが電話機の設定ファイルである場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、電話機を Cisco Unified Communications Manager データベースから削除します。次に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、電話機を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加し直します。 CTL ファイルに問題があり、ファイルの取得先サーバのキーが不良です。この場合、正しい TFTP サーバが確実にこのファイルに含まれるように、CTL クライアントを実行して CTL ファイルを更新します。
ファイルが見つかりません	電話機が、電話機の設定ファイルに指定された電話機のロード ファイルを、TFTP サーバ上で見つけることができません。	電話機のロード ファイルが TFTP サーバに存在し、設定ファイルのエントリが正しいことを確認してください。
IP アドレスが解放されました	電話機は、IP アドレスを解放するように設定されています。	電話機は、電源投入サイクルを実行するか、または DHCP アドレスをリセットするまで、アイドル状態のままです。詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」の項を参照してください。

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ (続き)

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
認証のロードに失敗	電話機は、設定ファイルをロードできませんでした。	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 適切なバージョンの設定ファイルが、該当するサーバに存在すること。 ダウンロードする電話機のロード ファイルが変更されていないこと。また、そのロードファイルの名前が変更されていないこと。 電話ロード タイプに互換性があること (たとえば、DEV ロード設定ファイルは REL 署名電話機に配置できません)。
ロード ID が正しくありません	ソフトウェア ファイルのロード ID が不正なタイプです。	電話機に割り当てられたロード ID を確認します (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [デバイス] > [電話] を選択します)。ロード ID が正しく入力されていることを確認します。
拒否された HC のロード	ダウンロードされたアプリケーションは、電話機のハードウェアと互換性がありません。	この新型の電話機でのハードウェア変更をサポートしていないバージョンのソフトウェアをインストールしようとすると発生します。 電話機に割り当てられたロード ID を確認します (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [デバイス] > [電話] を選択します)。電話機に表示されたロードを再入力します。電話機の設定を確認する方法については、P.7-10 の「ファームウェア バージョン画面」を参照してください。
ロードサーバが無効です	[ロードサーバ] オプションに、無効な TFTP サーバの IP アドレスまたは名前があることを示します。	[ロードサーバ] の設定が無効です。[ロードサーバ] には、電話機をアップグレードするために電話機のファームウェアを取得できる TFTP サーバの IP アドレスまたは名前を指定します。 [ロードサーバ] のエントリを確認します (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [デバイス] > [電話] を選択します)。
CTL がインストールされていません	CTL ファイルが電話機にインストールされていません。	セキュリティが設定されていない場合に発生します。または、セキュリティが設定されている場合は、CTL ファイルが TFTP サーバに存在しないために発生します。 詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。
デフォルトルータがありません	DHCP または固定の設定でデフォルトルータが指定されていません。	<ul style="list-style-type: none"> 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、デフォルト ルータが設定されていることを確認してください。詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」の項を参照してください。 DHCP を使用している場合は、DHCP サーバがデフォルトルータを提供していません。DHCP サーバの設定を確認してください。

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ (続き)

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
DNS サーバ IP があり ません	名前は指定されていますが、DHCP またはスタティック IP 設定で DNS サーバのアドレスが指定されていません。	<ul style="list-style-type: none"> 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、DNS サーバが設定されていることを確認してください。詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」の項を参照してください。 DHCP を使用している場合は、DHCP サーバが DNS サーバを提供していません。DHCP サーバの設定を確認してください。
プログラミングエラー	プログラミングの間に電話機でエラーが発生しました。	電話機の電源投入サイクルを実行し、このエラーの解消を試みてください。それでも問題が存続する場合は、シスコのテクニカルサポートに連絡してサポートを依頼してください。
成功-MD5	電話機で 802.1X トランザクションを実行しようとしたときに、認証に成功しました。	電話機は 802.1X 認証を完了しました。
TFTP アクセスエラー	TFTP サーバが、存在しないディレクトリをポイントしています。	<ul style="list-style-type: none"> DHCP を使用している場合は、DHCP サーバが正しい TFTP サーバをポイントしていることを確認してください。 スタティック IP アドレスを使用している場合は、TFTP サーバの設定を確認してください。TFTP サーバの割り当ての詳細については、P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」を参照してください。
TFTP エラー	電話機が、TFTP サーバによって提供されたエラー コードを認識していません。	Cisco TAC に連絡してください。
ファイルが見つかりません	要求されたロードファイル (.bin) が TFTPPath ディレクトリにありません。	電話機に割り当てられたロード ID を確認します (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [デバイス] > [電話] を選択します)。TFTPPath ディレクトリに、このロード ID が名前として付けられた .bin ファイルが存在することを確認してください。
認証されていない TFTP	指定された TFTP サーバが電話機の CTL に存在しません。	<ul style="list-style-type: none"> DHCP サーバが正しく設定されていません。また、サーバの TFTP サーバアドレスが不正です。この場合は、TFTP サーバの設定を更新して、正しい TFTP サーバを指定します。 電話機がスタティック IP アドレスを使用している場合は、間違った TFTP サーバアドレスが電話機に設定されている可能性があります。この場合は、電話機の [ネットワークの設定] メニューで、正しい TFTP サーバアドレスを入力します。 TFTP サーバアドレスが正しい場合は、CTL ファイルに問題がある可能性があります。この場合、正しい TFTP サーバが確実にこのファイルに含まれるように、CTL クライアントを実行して CTL ファイルを更新します。

表 7-2 Cisco Unified IP Phone 7975G のステータス メッセージ (続き)

メッセージ	説明	考えられる状況と対処方法
TFTP タイムアウト	TFTP サーバが応答しませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークがビジーになっている：このエラーは、ネットワーク負荷が軽減されると、自動的に解決します。 TFTP サーバと電話機との間にネットワーク接続がない：ネットワーク接続を確認してください。 TFTP サーバがダウンしている：DNS サーバの設定を確認してください。
タイムアウト	サブリカントが 802.1X トランザクションを実行しようとしたが、オーセンティケータが存在しないためにタイムアウトになりました。	通常は、802.1X 認証がスイッチに設定されていない場合に認証がタイムアウトになります。
バージョンエラー	電話機のロード ファイルの名前が不正です。	電話機のロード ファイルが正しい名前であることを確認してください。
XmlDefault.cnf.xml (または電話機のデバイス名に対応した .cnf.xml)	設定ファイルの名前です。	なし。これは、電話機の設定ファイルの名前を示す情報メッセージです。

ネットワーク統計画面

[ネットワーク統計] 画面には、電話機とネットワークのパフォーマンスに関する情報が表示されます。表 7-3 に、この画面に表示される情報を示します。

[ネットワーク統計] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 設定ボタンを押します。
- ステップ 2** [ステータス] を選択します。
- ステップ 3** [ネットワーク統計] を選択します。

Rx Frames、Tx Frames、および Rx Broadcasts の統計を 0 にリセットするには、[クリア] ソフトキーを押します。

[ネットワーク統計] 画面を終了するには、[終了] ソフトキーを押します。

表 7-3 ネットワーク統計メッセージのコンポーネント

項目	説明
Rx Frames	電話機が受信したパケットの数。
Tx Frames	電話機が送信したパケットの数。
Rx Broadcasts	電話機が受信したブロードキャストパケットの数。

表 7-3 ネットワーク統計メッセージのコンポーネント (続き)

項目	説明
次のいずれかの値になります。 初期化されました TCP-timeout CM-closed-TCP TCP-Bad-ACK CM-reset-TCP CM-aborted-TCP CM-NAKed KeepaliveTO Failback Phone-Keypad Phone-Re-IP Reset-Reset Reset-Restart Phone-Reg-Rej 拒否された HC のロード CM-ICMP-Unreach Phone-Abort	電話機が最後にリセットされた原因。
経過時間	電話機が最後にリポートされた以降に経過した時間。
Port 1	PC ポートのリンクの状態と接続 (たとえば、Auto 100 Mb Full-Duplex は、PC ポートがリンク アップ状態で、全二重の 100 Mbps 接続を自動ネゴシエーションしたことを意味します)。
Port 2	ネットワーク ポートのリンク状態と接続。
DHCP BOUND	電話機が DHCP サーバにバインドされ、DHCP パラメータの受け入れが可能であるため、電話機が DHCPACK メッセージを受信しています。

ファームウェア バージョン画面

[ファームウェアバージョン] 画面には、電話機で稼働しているファームウェアのバージョンに関する情報が表示されます。表 7-4 に、この画面に表示される情報を示します。

[ファームウェアバージョン] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 設定ボタンを押します。
- ステップ 2** [ステータス] を選択します。
- ステップ 3** [ファームウェアバージョン] を選択します。

[ファームウェアバージョン] 画面を終了するには、[終了] ソフトキーを押します。

表 7-4 ファームウェア バージョンの情報

項目	説明
ロードファイル	電話機で稼働しているロードファイル。
アプリケーション ロード ID	電話機で稼働している JAR ファイルを識別します。
JVM ロード ID	電話機で実行されている Java Virtual Machine (JVM) を識別します。
OS ロード ID	電話機で稼働しているオペレーティング システムを識別します。
起動ロード ID	電話機で稼働している、出荷時にインストール済みのロードを識別します。
拡張モジュール 1 拡張モジュール 2	拡張モジュールが SCCP 電話機に接続されている場合に、拡張モジュールで稼働しているロードを識別します。
DSP ロード ID	使用されている Digital Signal Processor (DSP; デジタル シグナル プロセッサ) ソフトウェアを識別します。

拡張モジュール画面 (SCCP 電話機のみ)

[拡張モジュール] 画面には、電話機に接続されている各 Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールに関する情報が表示されます。この画面は、SCCP 電話機のみで表示されます。

表 7-5 に、接続されている各拡張モジュールについて、この画面に表示される情報を示します。必要な場合は、この情報を拡張モジュールのトラブルシューティングに使用できます。[拡張モジュール] 画面では、先頭に「A」が付いている統計は最初の拡張モジュールの統計です。先頭に「B」が付いている統計は 2 番目の拡張モジュールの統計です。

[拡張モジュール] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 設定ボタンを押します。
- ステップ 2 [ステータス] を選択します。
- ステップ 3 [拡張モジュール] を選択します。

[拡張モジュール] 画面を終了するには、[終了] ソフトキーを押します。

表 7-5 拡張モジュールの統計

項目	説明
リンクの状態	拡張モジュール全体のステータス。
RX Discarded Bytes	エラーのために廃棄されたバイトの数。
RX Length Err	長さが正しくないために廃棄されたパケットの数。
RX Checksum Err	チェックサム情報が無効であるために廃棄されたパケットの数。
RX Invalid Message	メッセージが無効またはサポートされていないために廃棄されたパケットの数。

表 7-5 拡張モジュールの統計 (続き)

項目	説明
TX Retransmit	拡張モジュールに再送信されたパケットの数。
TX Buffer Full	拡張モジュールが新規メッセージを受信できなかったために廃棄されたパケットの数。

コールの統計画面

[コールの統計] 画面には、次のようにカウンタ、統計、および音声品質メトリックが表示されます。

- 通話中: ? ボタンをすばやく 2 回押すと、コール情報を表示できます。
- 通話後: [コールの統計] 画面を表示すると、直前の通話中にキャプチャされたコール情報を表示できます。



(注) Web ブラウザを使用して [ストリームの統計] Web ページにアクセスすることにより、リモートでコールの統計情報を表示することもできます。この Web ページには、電話機で表示できない追加の RTCP 統計が含まれています。リモートモニタリングの詳細については、[第 8 章「Cisco Unified IP Phone のリモート モニタ」](#)を参照してください。

単一のコールに複数の音声ストリームが含まれる場合がありますが、最後の音声ストリームに関するデータだけがキャプチャされます。音声ストリームは、2つのエンドポイント間のパケットストリームです。一方のエンドポイントが保留になると、コールが引き続き接続されている場合でも、音声ストリームは停止します。コールが再開されると、新しい音声パケットストリームが開始され、以前のコールデータは新しいコールデータによって上書きされます。

[コールの統計] 画面に最後の音声ストリームに関する情報を表示するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** 設定ボタンを押します。
- ステップ 2** [ステータス] を選択します。
- ステップ 3** [コールの統計] を選択します。
-

[コールの統計] 画面には、次の項目が表示されます。

表 7-6 [コールの統計] の項目

項目	説明
受信コーデック	受信した音声ストリームのタイプ (RTP ストリーミング オーディオの送信元コーデック)。G.729、G.728/iLBC、G.711 u-law、G.711 A-law、または Lin16k。
送信コーデック	送信された音声ストリームのタイプ (RTP ストリーミング オーディオの送信元コーデック)。G.729、G.728/iLBC、G.711 u-law、G.711 A-law、または Lin16k。

表 7-6 [コールの統計] の項目 (続き)





項目	説明
受信サイズ	受信中の音声ストリーム (RTP ストリーミング オーディオ) の音声パケット サイズ (ミリ秒)。
送信サイズ	送信中の音声ストリームの音声パケット サイズ (ミリ秒)。
受信パケット	音声ストリームが開始されてから受信した RTP 音声パケットの数。  (注) この数値は、必ずしもコールの開始以降に受信した RTP 音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。
送信パケット	音声ストリームの開始以降に送信された RTP 音声パケットの数。  (注) この数値は、必ずしもコールの開始以降に送信された RTP 音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。
平均ジッタ	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された、RTP パケットジッタの推定平均値 (パケットがネットワークを経由する際の動的な遅延)。
最大ジッタ	受信中の音声ストリームが開始されてから測定された最大ジッタ。
受信削除	受信中の音声ストリームで廃棄された RTP パケットの数 (不良パケット、過度の遅延が原因)。  (注) 電話機は、シスコ ゲートウェイによって生成されたペイロードタイプ 19 のコンフォート ノイズ パケットを廃棄します。これによって、このカウンタが増分されます。
受信喪失パケット	失われた RTP パケット (転送中に喪失)。
音声品質メトリック	
MOS LQK	5 (優良) から 1 (不良) の間で評価する Mean Opinion Score (MOS; 平均オピニオン評点) を客観的に見積もったスコア。このスコアは、音声ストリームに先行する 8 秒間の間隔における、フレーム喪失による音声秘匿イベントに基づいています。詳細については、 P.9-18 の「 コールの音声品質のモニタリング 」を参照してください。  (注) MOS LQK スコアは、Cisco Unified IP Phone が使用しているコーデックの種類によって異なります。
平均 MOS LQK	音声ストリーム全体を観測した平均 MOS LQK。
最小 MOS LQK	音声ストリームの開始以降に観測された最も低い MOS LQK スコア。

表 7-6 [コールの統計] の項目 (続き)

項目	説明
最大 MOS LQK	音声ストリームの開始以降に観測されたベースライン MOS LQK または最も高い MOS LQK。 これらのコーデックは、フレーム喪失なしの通常の条件で次の最大 MOS LQK スコアを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • G.711 は 4.5 • G0.722 は 4.5 • G.728/iLBC は 3.9 • G.729 A /AB は 3.8
MOS LQK のバージョン	MOS LQK スコアを計算するために使用されるシスコ独自のアルゴリズムのバージョン。
累積秘匿率	秘匿フレームの総数を、音声ストリームの開始から受信した音声フレームの総数で割ったもの。
間隔秘匿率	アクティブな音声に先行する 3 秒間の間隔における、音声フレームに対する秘匿フレームの比率。Voice Activity Detection (VAD; 音声アクティビティ検出) を使用している場合、3 秒間のアクティブな音声を蓄積するには、より長い間隔が必要になることがあります。
最大秘匿率	音声ストリームの開始以降、最も高い間隔の秘匿率。
秒数を秘匿	音声ストリームの開始以降、秘匿イベント (フレーム損失) があった秒数 ([厳密に秒数を秘匿] の値を含む)。
厳密に秒数を秘匿	音声ストリームの開始以降、5% を超える秘匿イベント (フレーム損失) があった秒数。
遅延	ネットワーク遅延の推定値 (ミリ秒単位)。ラウンドトリップ遅延の実行中の平均値を表します。これは、RTCP 受信レポート ブロックの受信時に測定されます。